

新たな伝統へ 3年6組 可児奈津実

「全力で戦い、全力で楽しもう！」

これは、体育祭の団長になったときに決めた目標です。自分に団長が務まるのか不安はありましたが、やるとなったら目標を定め、前向きに取り組もうと決めました。そして、目標を達成するために、「まずは練習から全力で」「練習のための準備を万全に」と言う二つのことを実行することにしました。実際に活動を開始すると、「うまくいなくて悩んだこと」「みんなに助けられたこと」のどちらも多くありました。

応援合戦では、秋からの練習に備えて、夏休み中から構想を練り始めました。インターネットで多くの動画を研究し、応援団員と話し合いを繰り返しました。「限られた費用と人数でやりくりできない」「仲間の意見がまとまらない」などのさまざまな問題がありましたが、よい演舞をしたいと言う思いは一つと言うこともあり、理想に近いものを作り上げることができました。

準備が整い、練習に入ったときには、3年生の仲間たちが他学年の見本となり、動いてくれました。また、1・2年生も「練習から全力で取り組む」という思いを感じ取り、それに応えようと言う気持ちで練習をしてくれました。そして、全員の気持ちがまとまるにつれて、練習にも全力で取り組めるようになってきました。もし、自分が団長をやっていたら、他の人に指示を出してもらうのを待ち、自分からは動かない受け身の存在だったと思います。だからこそ、全員が受け身ではなく、組を盛り上げるために一生懸命取り組んでくれることが本当に嬉しかったです。本番では、全力で練習通りの完璧な演舞ができたと思います。これは、「何事も全力で」という意識をもって取り組んできたからこそその結果だと思います。

さらに、今回は曲を使わない応援合戦と言う新しいことに挑戦しました。どの組もそれぞれに工夫し、練習した成果を本番で披露できていたのではないのでしょうか。このスタイルがこれからの乙川中学校の応援合戦の新しい伝統になったらいいなと思っています。

私は団長を経験したことで、本番に結果を残すためには準備から全力で取り組むことが大切であることを学びました。また、こつこつ努力を重ねることも欠かせないということも感じています。自分にとって最後の体育祭から、自分の人生を豊かにするような経験ができたことをうれしく思います。

学級・学年・学校全体で、目標達成に向けて、自分にできることを考えながら作り上げていく活動は、学校生活でしか味わえないことです。合唱コンクールを終えた今、3年生にとって3年間の集大成となる卒業式が待っています。自分にとって、全員にとって、大切な思い出に残るような卒業式にできるよう「準備から全力で取り組む」ことを意識しながら、残りの学校生活を充実させていきたいと思っています。